

東北新幹線全線運転再開について

2022年 4月 5日

東日本旅客鉄道株式会社

3月16日(水)に福島県沖で発生した地震の影響により、東北新幹線は福島～仙台間で運転を見合わせておりますが、復旧作業および安全確保の見通しが立ったことから、4月14日(木)からの全線運転再開を予定しています。

1 全線運転再開日

2022年4月14日(木)

※ 3月30日にお知らせした4月10日までの臨時ダイヤについては、全線運転再開日の前日4月13日まで期間を延長いたします。

※ 延長となる4月11日～13日の指定券につきましては、4月6日の営業開始から発売いたします。

2 運転再開後のダイヤ

当面は、郡山～一ノ関間で徐行運転が必要なため、臨時ダイヤで運転いたします。

※ 詳細な時刻は別途ご案内いたします。

※ 平常運転の再開時期については、復旧工事が進み次第、あらためてお知らせいたします。

3 地震による被害の状況と復旧工事の状況

別紙1参照

4 新幹線高架橋柱の耐震補強状況および本地震での損傷状況

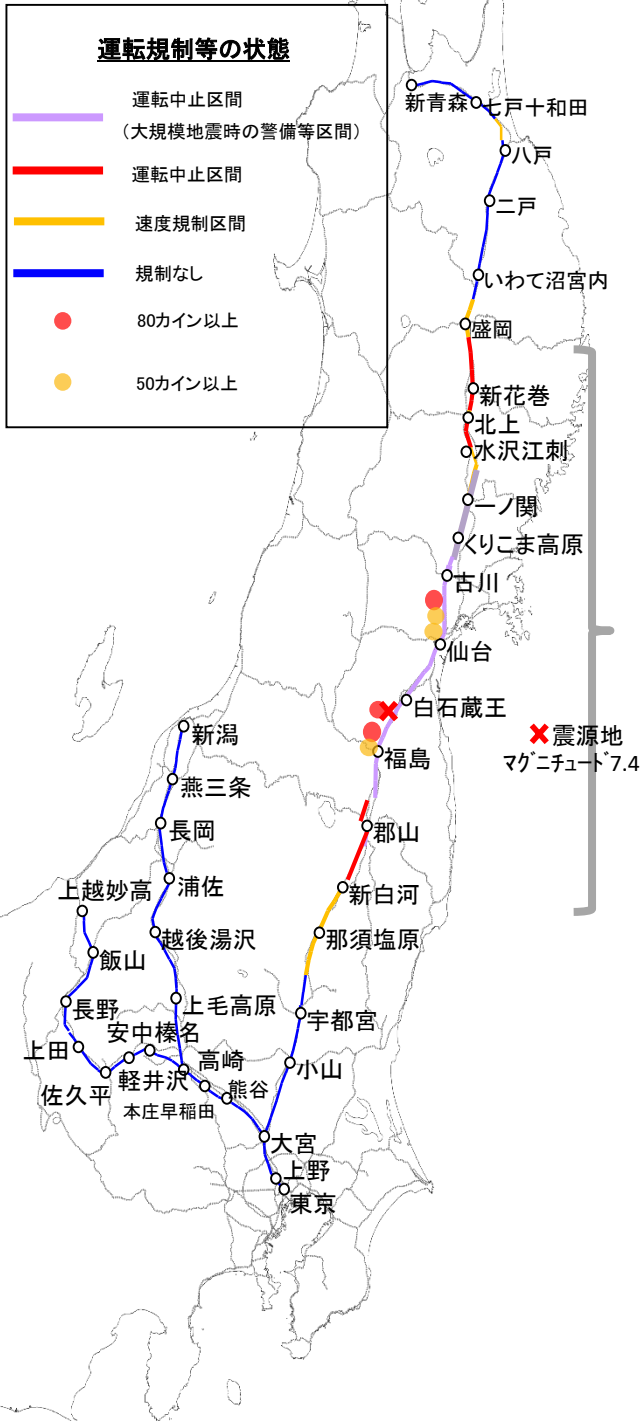
別紙2参照

以上

地震により被災した設備の復旧状況(新幹線)

主な被災設備	被災箇所数
電柱被害	79本
架線断線	2箇所
架線金具等の損傷	約550箇所
土木設備被害	約60箇所
軌道変位・損傷	約300箇所
駅設備被害	約10箇所
被害状況合計	約1,000箇所

※被災箇所数は、今後変更になることがあります。



脱線復旧作業



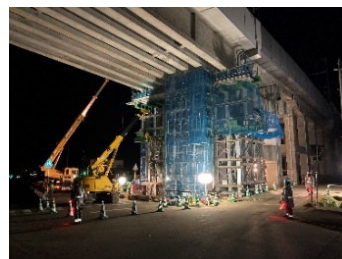
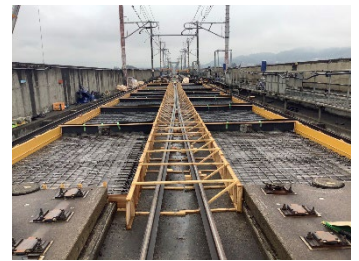
仙台駅回送作業



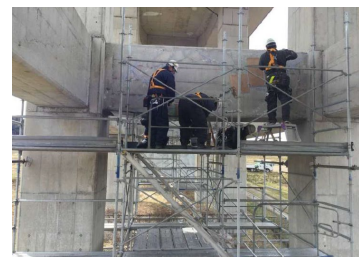
電柱復旧作業



軌道変位復旧作業



土木設備復旧作業(高架橋)



これまでの大規模地震による損傷事例

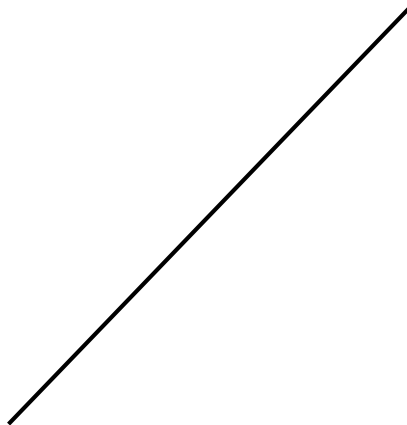
損傷度大

- 桁・スラブの落下
- 柱の破断
- 等による建造物の崩壊



※ 阪神・淡路大震災

本地震での損傷状況



上層柱はせん断破壊先行型のため、補強済み

高架橋柱の性能と耐震補強状況

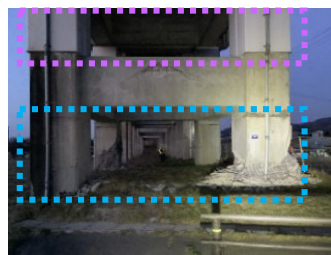
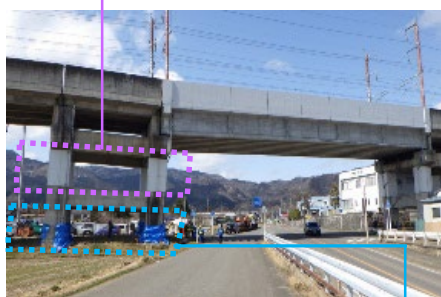
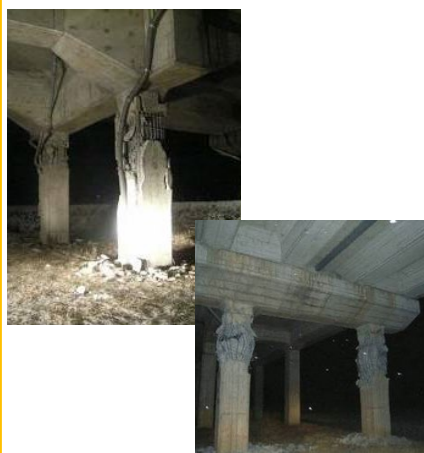
【せん断破壊先行型】

- ・約18,900本 補強完了



損傷度中

- 桁・スラブの沈下
- 鉄筋はらみ出し



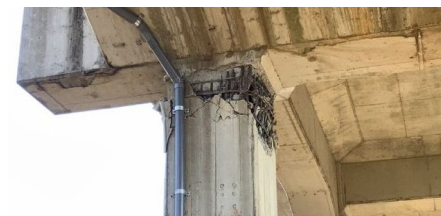
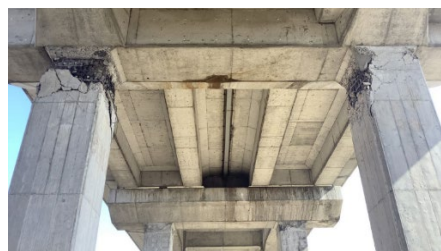
【曲げ破壊先行型】

(耐震性が比較的低いもの)

- ・約16,700本 補強完了
- ・約 1,400本 今後補強予定

損傷度小

- 桁・スラブの沈下なし
- 表面コンクリートの剥落・ひび割れ



【曲げ破壊先行型】

(耐震性が比較的高いもの)

- ・約1,000本 補強完了
- ・約8,200本 今後補強予定